

茨城県の地方銀行、常陽銀行のコンサルティング営業部に所属し、ITコーディネーターの資格を取得した中田智久氏、川村淳氏、石井貴之氏、細谷幸永氏に話をうかがいました。

——行員にITコーディネーターの資格取得を推奨されているようですが、その理由をお聞かせください。

中田 従来の伝統的な銀行業だけでは生き残っていくのが難しくなっている中で、お客さまにソリューションの付加価値を実感してもらうには、コンサルティング業務が必要だと考えています。特にITの仕事は成約した後のコンサルティングがとても重要です。経営者の方にヒアリングして将来のビジョンを導き出し、その実現をサポートしていくことが、ITに限らずいろいろなケースで必要になると思います。そういう考え方の基礎を、ITコーディネーターの資格を取る中で身に付けていけると考え、取得を推奨しています。

——ITコーディネーターのような資格は現場でも必要性を感じているのでしょうか？

川村 業務の効率化を図るために、やはりデジタル化に関する相談の件数はかなり増えてきています。しかし、これまで

はベンダーをお客さまに紹介するだけのビジネスマッチングのケースが多くありました。しかし、今後は経営全般に対する相談や、その中のITの相談はますます増えていくと思います。しっかりとしたコンサルティングをする上では、ITコーディネーターの資格はマッチしていると思います。

石井 銀行員は、通常、社長としか話を

ITコーディネーターのケース研修で コンサルティング思考の基礎を 学ぶことができました

株式会社常陽銀行

企業概要:茨城県水戸市に本店を置き、茨城県とその周辺地域を中心に国内183店舗、海外4事業所を展開する地方銀行。1935年に水戸市に本店を置く常磐銀行と土浦市に本店を置く五十銀行が合併し、現在の株式会社常陽銀行を設立。2016年10月1日付で めぶきフィナンシャルグループとの株式交換による完全子会社化により、傘下の足利銀行と経営統合した。1974年に日本で初めて教育ローンを導入した銀行としても知られている。

本店所在地:茨城県水戸市南町2-5-5 URL:<https://www.joyobank.co.jp/>

しません。しかし、ITコーディネーターのケース研修の事例にもありますが、実際には各部署の方といるいろいろな話をして、その中で本来会社が目指す姿が見えてくるところもあります。企業のコンサルティングに入るときは、社長だけではなくいろいろな方から話を聞くことによって、その会社の全体像がもつとよく見えてきます。ケース研修を経験したことによってそのことを学び、企業とより深く関われるようになったと思います。

細谷 私はこれまでお客さまとは1対1でお話をすることが多くて、支店でチームを組んで何かひとつのプロジェクトをやったことはありませんでした。ケース研修では、全く知らない3、4人がひとつの会社のために一緒に考えることを経験することができ、今のこのコンサルティングのチームではその考え方がとても役に立っています。

——他の行員の方にもITコーディネーターの資格は勧めたいですか？

川村 ぜひ勧めたいです。ケース研修ではかなり時間をかけ、体系的に学ぶことができました。今までの銀行の研修ではなかなかなかったことでした。ケース研修を受けることで、コンサルティングの思考の基礎を学ぶことができるのではないかと思います。

石井 私も同じように支店の人にも勧めたいと思っています。以前は、OJTという形で先輩に付いて営業の手法などを学ぶことはできたのですが、今は店舗も人が限られていて、なかなかそれができません。そんな中でも、銀行に入っ

ぐに企業の社長とも話をしなくてはなりません。ケース研修を通して、課題の考え方や導き方を実践的に学ぶことができ、ITのことに限らず、企業としっかりと向かい合えるようになると思います。

細谷 支店の営業をやっていたときは、お客さまに接することにすごく苦手意識を持っていました。しかし、ケース研修を受け、ITコーディネーターの資格を取ってからは、お客さまのところに行ってみると、資格がバックに付いているので自信を持って臨むことができました。この資格はとても良いと実感しています。

中田 ITコーディネーターのケース研修は受けて良かったという声がとても多いです。銀行が行うコンサルティングを目指すのであれば、この資格を取るための学びは必要だと考えています。



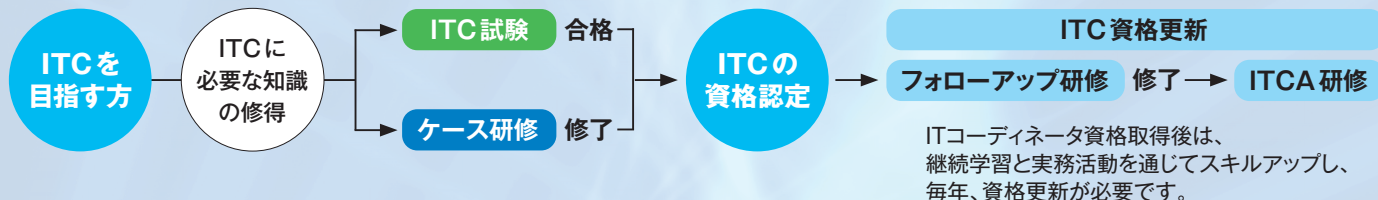
写真右より常陽銀行コンサルティング営業部の石井貴之氏、川村淳氏、中田智久氏、細谷幸永氏、山崎健氏(本店前にて)

ITコーディネータ 試験の合格

ケース研修の 受講・修了

と で

ITコーディネータの資格を取得できます!



ITコーディネータ試験 合否はその場で判明!

CBT※方式の採用により自分のスケジュールで試験がうけられます。試験方法は、CBT方式を採用しており、試験日時、会場(全国約300カ所)を、試験期間内で自由に選択することが可能です。中小企業診断士などの専門資格を有する人には「専門スキル特別認定試験」があります。

※CBT(Computer Based Testing)とは、試験に関するすべてのプロセスをコンピュータ化したサービス。



<https://itc-shikaku.itc.or.jp/exam/>

		ITコーディネータ試験	専門スキル特別認定試験
試験概要	受験資格	制限はありません。 ITコーディネータに必要な専門知識と実務経験を有している方なら、どなたでも受験できます。	専門スキル特別認定制度の対象資格を保有していること。 【対象資格】中小企業診断士、 税理士、PMPなど (ホームページ参照)
	問題形式	多岐選択方式	
	問題数	100問(必須60問、選択40問)	60問(選択40問免除)
	試験時間	120分	80分
	受験料金	19,800円(税込)	9,900円(税込)

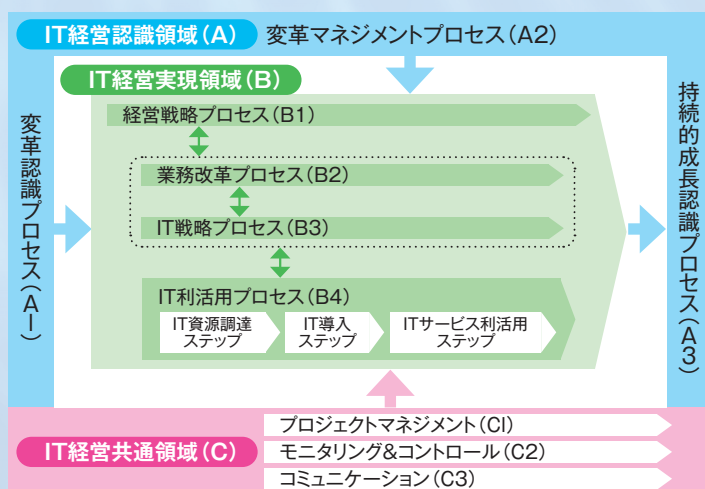
ケース研修 集合研修(6日間)とeラーニングとで実践力UP!

年間2回(5~9月、11~2月)開催。ケース研修は、「IT経営認識領域」、「IT経営実現領域」のITコーディネータの活動を、モデル企業の事例を題材に「グループ討議」「ロールプレイ」を通じて疑似体験していただくものです。有用な方法論、ツール類(バランスド・スコア・カード、IT経営成熟度モデルなど)をリファレンスとして活用して課題に取り組むことにより、問題解決能力を体系的に習得できる、他に類を見ない研修です。

受講料 **220,000円**(税込)



<https://itc-shikaku.itc.or.jp/case/>



ITコーディネータに関するお問い合わせは…

ITCA 特定非営利活動法人
ITコーディネータ協会

■ 研修実施機関 ■

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-17-8
TEL: 03-3527-2177 FAX: 03-3527-2178